

令和3年度

鶴岡市予算特集

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 未来都市 鶴岡

森・食・農の文化と先端生命科学が共生する
“いのち輝く、創造と伝統のまち 鶴岡”

エスディーゼーズ
「SDGs」は持続可能な開発目標のことで、国連が世界をより良くするために、2030年までに達成すべき17の目標を定めたものです。鶴岡市は、「誰ひとり取り残さない」SDGsの実現に向けた取り組みを推進します。

第2次鶴岡市総合計画の目指す都市像

「ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち 鶴岡」

の実現に向けて



▲鶴岡サイエンスパーク。黄線内が先端研究産業支援センターの新棟建設予定地

令和3年度の予算は、行財政改革に取り組みながら、第2次鶴岡市総合計画を実現していくとともに、新型コロナウイルス感染症にも対応していくために必要な事業を盛り込んでいきます。

最重要課題である少子化・人口減少対策として

進学で本市を離れる若者の地元回帰、地元就職を促すために、総額で最大201万6,000円を支援する新たな奨学金返済支援制度を創設します。

産業の振興では、鶴岡産農産物のブランド化戦略を策定し、販路拡大を図るとともに、農商工観の連携と6次産業化を推進します。農業を支える人材の育成・確保では、農業経営者育成学校「SEADS（シーズ）」における研修のほか、新規就農に対する補助金や奨学金など多角的に支援を行います。新たな産業集積用地の整備に向けて

基本計画を策定するとともに、引き続き企業の新規立地や設備投資を支援し、本市での投資拡大を促進します。

また、高度な研究教育による新産業創出と起業家の育成を目的に、現在満室となっている先端研究産業支援センターの新棟の建築工事に着手します。

令和4年には酒井家庄内入部400年を迎えることから、実行委員会が行う各種プレ事業等の実施を支援するとともに、鶴岡公園周辺など観光客の受け皿となる各施設の機能充実や連携強化を図ります。

また、日本遺産「サムライゆかりのシルク」を地域活性化につなげるため、松ヶ岡開墾150年を記念した取り組みを進めながら、蚕室群の一部（4番蚕室）を絹織物体験施設等として整備します。

地域コミュニティづくりの推進では、加茂コミュニティセンターの移転新築工事、大山コミュニティセンターの改築の実施設計、第一学区コミュニティ防災センターの大規模改修など、老朽化した施設の整備を実施します。

医療提供体制の充実では、荘内病院での修学資金貸与制度や出張医及び臨床研修医の受入れ体制整備などの医師確保対策のほか、高度医療機器等の計画的な整備を進めます。

資源循環型社会の形成では、新ごみ焼却施設の運用を開始し、ごみ焼却で発生する熱を有効活用して発電し、年間約2億円の売電収入を確保しながら、



松ヶ岡開墾場4番蚕室の整備後のイメージ図

発電した電力を市内小・中学校や公共施設に供給する「電力の地産地消」に取り組みます。

市民スポーツの振興では、屋内多目的運動場の今年11月下旬の開館に向けて整備を進めます。東京オリンピック・パラリンピックについては、今後の国・県の動向を注視しながら、ドイツ及びモルドバのホストタウンとしての取り組みや聖火リレーの関連行事などを実施します。

まちのにぎわい創出では、中心商店街や各種団体等がまちなかや地域のにぎわい拠点で行う取り組みを支援するとともに、創業や事業継承に伴って行う店舗等のリフォームを支援します。

令和3年度の当初予算総額

1,355億7,528万4千円 (対前年度比 -2.7%)

会計別内訳

一般会計 702億4,500万円 (対前年度比 -5.2%)

福祉、医療、教育、道路の整備など基礎的な行政サービスを行うための会計です。

特別会計 308億6,485万3千円 (対前年度比 +0.1%)

特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするために、一般会計から独立しています。

会計別の予算額は右の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	124億2,933万6千円	-0.4%
後期高齢者医療保険特別会計	16億6,106万9千円	+0.7%
介護保険特別会計	167億461万9千円	+0.4%
休日夜間診療所特別会計	6,226万9千円	-10.5%
墓園事業特別会計	756万円	+0.5%

企業会計 344億6,543万1千円 (対前年度比 +0.2%)

民間企業と同様に、事業の収益によって運営している会計です。地方公共団体が経営する企業を地方公営企業と言います。

会計別の予算額は右の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
病院事業会計	165億6,869万7千円	+1.7%
水道事業会計	49億2,812万8千円	-1.8%
下水道事業会計	129億6,860万6千円	-0.9%



▲県内最大級の人工芝のアリーナがある屋内多目的運動場

また、旧まちなかキネマの建物を活用し、商店街振興や多様な交流促進を図るための取り組みを支援します。

SDGs 未来都市として

昨年7月に本市は、経済・社会・環境の3つの側面の強化に向けた取り組みが評価され、内閣府からSDGs未来都市に選定されました。「誰ひとり取り残さない」というSDGsの共通理念のもと、地域事業者、高等教育機関、金融機関など多様な主体と連携しながら、SDGsの推進に取り組みます。

今年度は、本市のデジタル化戦略の具体化を推進するとともに、SDGsに積極的な企業に対する投資等呼び込むために、地域事業者の登録認証制

度と、これに基づく支援制度を構築します。

行財政改革の推進

本市の財政状況は、地方交付税を始めとする依存財源が令和3年度当初予算で65・6%を占め、国の財政政策や制度改革の影響を強く受ける状況にあります。さらに、合併以降15年にわたって受けてきた普通交付税の優遇措置が令和2年度で終了したことに加え、近年の大型投資事業に係る市債の償還が高い水準で推移する見込みであり、今後の財政状況にも大きく影響します。

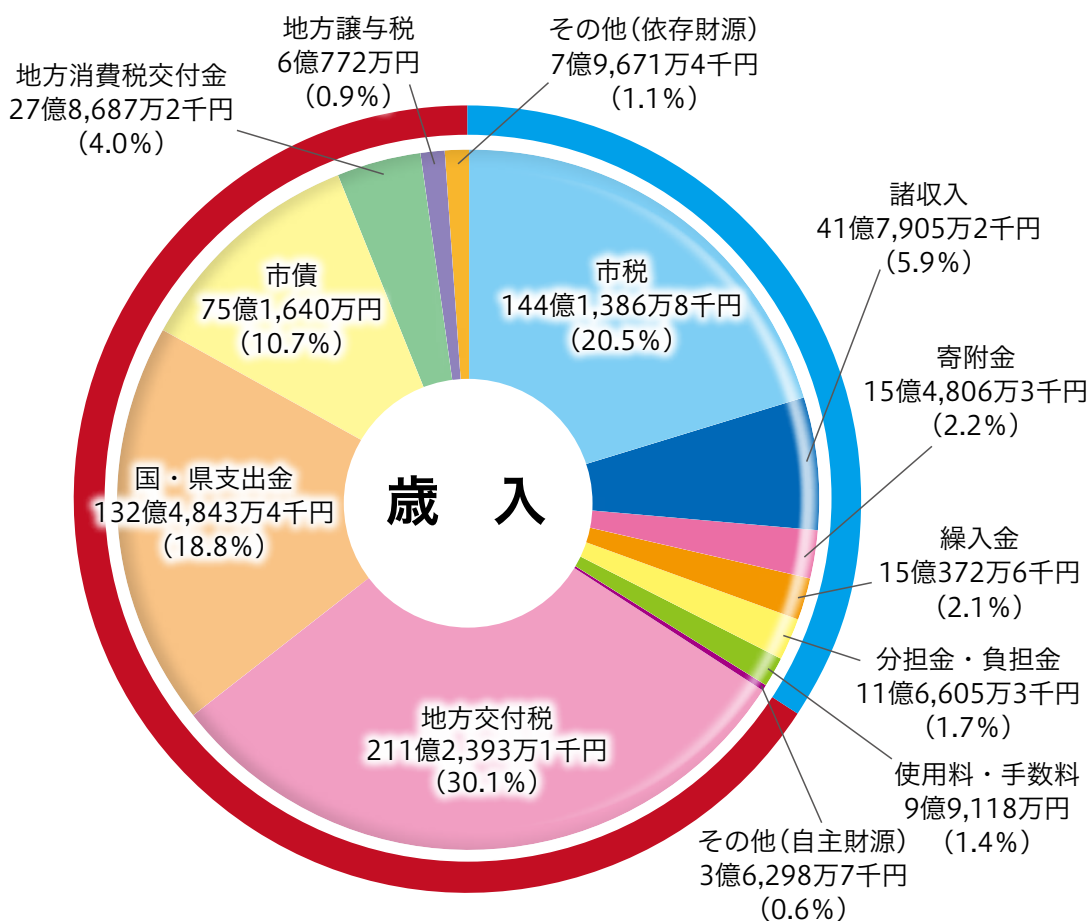
こうした中、令和2年度には、地域の振興、発展を力強く推進し、変化する行政ニーズに効率的・効果的に対応するため、第3次行財政改革大綱と実施計画を策定し、歳出規模や職員定数の適正化などを進めることとしています。

実施計画では、可能な限り目標を数値化し、中期財政見通しの設定や、下水道工事の設計施工一括発注(DB)方式の導入、朝日庁舎の再整備での施設機能の合築・複合化による効率化、ふるさと納税など自主財源の確保、デジタル技術の活用による窓口サービスの改善など46項目を掲げ、5か年の財政効果額は約15億円を見込んでいます。

行財政改革の進行状況は、行政評価手法による評価結果を市民の皆様にご表示しながら、毎年度の予算に反映し、改革を推進していきます。



702億4,500万円



歳入に占める割合

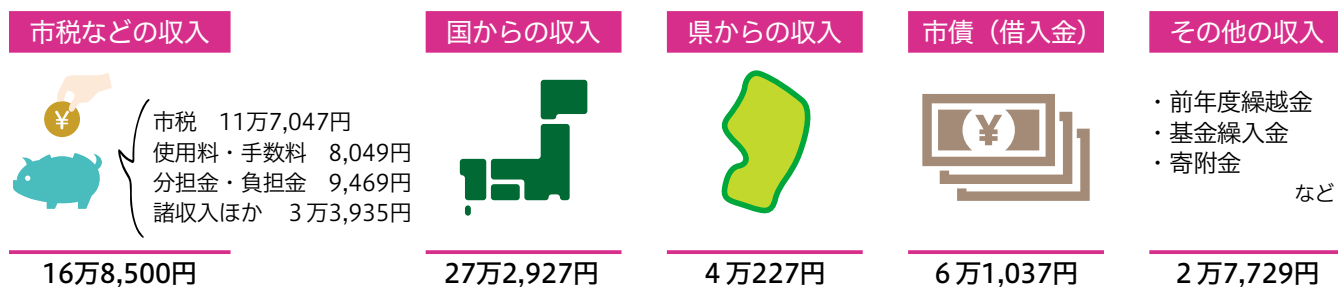
自主財源…34.4%
市税など、自主的な収入

- 市税
- 繰入金
- 諸収入
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 寄附金 等

依存財源…65.6%
地方交付税など、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

- 地方交付税
- 国・県支出金
- 市債
- 地方消費税交付金
- 地方譲与税 等

歳入額を市民1人あたりに換算すると 57万420円



※令和3年3月31日現在の人口：123,146人で算出

- 市税…市民が市に納める税金(市税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など)
- 地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- 国・県支出金…特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金
- 市債…建設事業や財政対策などを行うため、金融機関などから借り入れるお金

- 繰入金…特定の事業のために積み立てたお金(基金)などから繰り入れるお金
- 分担金・負担金…特定の利益を受けた人から負担してもらおうお金
- 地方消費税交付金…消費税の一部が人口と従業者数に応じて交付されるお金
- 地方譲与税…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

一般会計予算額

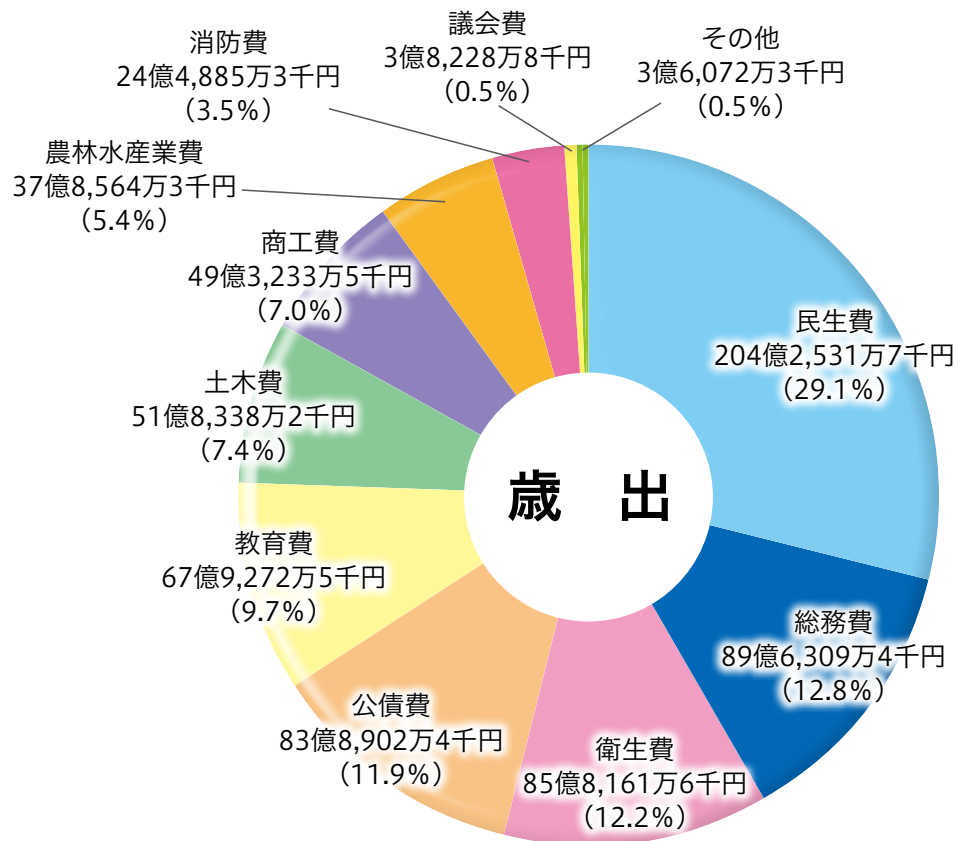
歳出に占める割合

消費的経費…62.7%
 物件費や補助費など、
 後年に形を残さずに消
 費される性質のお金

投資的経費…11.6%
 建設事業などのよう
 に、社会資本として将
 来に残るものに使われ
 る性質のお金

その他…25.7%












上記のうち
 義務的経費…47.2%
 人件費や扶助費、公
 債費のように、支出が
 義務付けられ、任意に
 節減できないお金



前年度と比べた歳出の状況

- 民生費…9億6,649万2千円の減
- 総務費…1億6,789万5千円の増
- 衛生費…56億5,333万5千円の減
- 公債費…7億9,207万5千円の増
- 教育費…7億3,297万5千円の増
- 土木費…4億952万2千円の減
- 商工費…15億5,334万円の増
- 農林水産業費…1億7,080万6千円の減
- 消防費…1億1,491万1千円の増
- 議会費…880万3千円の減
- その他（災害復旧費、労働費等）…876万2千円の増

歳出額を市民1人あたりに換算すると 57万420円

民生費 福祉や保育などのためのお金  16万5,863円	総務費 課税・納税、職員管理、企画などのためのお金  7万2,784円	衛生費 健康増進やごみ処理などのためのお金  6万9,686円	公債費 借金返済に充てるお金  6万8,123円	教育費 教育などのためのお金  5万5,160円	土木費 道路や橋の建設などのためのお金  4万2,091円
商工費 商工業や観光の振興のためのお金  4万53円	農林水産業費 農林水産業の振興のためのお金  3万741円	消防費 消防や救急、救助活動などのためのお金  1万9,886円	議会費 市議会の運営のためのお金  3,104円	その他（災害復旧費・労働費等） 災害復旧費…自然災害の復旧工事のためのお金 労働費…雇用対策などのためのお金  2,929円	

令和3年度 鶴岡市の 主要事業

市では、「社会システムを整える」「産業をのびよす」「まちを活性化する」観点から、分野横断で、総合計画に掲げる7つの未来創造プロジェクトを推進しています。

また、各事業がSDGsの実現につながるよう、SDGsの17の目標と関連付けて取り組んでいきます。

6・7ページでは、新年度の主要事業のうち未来創造のプロジェクトに関連する事業を中心に、8～10ページでは、総合計画の施策の大綱に沿って事業を紹介します。

若者・子育て世代応援

子供を産み育てやすい 環境の充実

5億3,502万円

第3子以降の保育料について、国の無償化の対象とならない2歳までの子供の保育料を引き続き市独自で無償化します。

国の無償化制度の対象とならない副食費については、3歳から5歳の第3子以降の副食費を引き続き市独自で無償化します。

子育て環境の整備・促進を図るため、中学3年生までの医療費自己負担額の完全無償化を継続します。

第3子以降の小・中学生の給食費を無償化します。



若者・子育て世代応援

奨学金返済支援事業

1,555万円

若者の地元回帰や地元就職を促進するため、奨学金返済支援制度を創設します。

〈要件〉 大学等の高等教育機関に進学した本市出身者等が、市内に就職かつ居住し、3年間勤務した場合、奨学金の返済分に相当する支援金を10年間で給付（市外出身者で市内高等教育機関に就学している方を含む）

〈支援金額〉 四年制大学の場合…一月当たり最大4万2,000円×4年分（総額最大201万6,000円）

※ひとり親家庭等の場合、月額1万円を上乗せ



産業強化イノベーション

先端研究産業支援センター 拡張事業

6億3,985万円

現在満室状態にある先端研究産業支援センターのレンタルラボを62室から82室に増室するため、新棟の建築工事を行います（令和4年度に供用開始予定）。



全世代全対象型地域包括ケア推進

障害者施策推進事業

168万円

障害者の様々なニーズに対応するため、関係する各種の機関・団体、相談支援事業者、福祉サービス事業者等のネットワーク（自立支援協議会）を活性化して、障害者の自立を支援します。また、調整委員会を設置しあつせんを図りながら、医療的ケア児を介護する家族の交流会を開催します。



産業強化イノベーション

産業強化イノベーション プロジェクト推進事業

1,259万円

新たな産業用地の開発に向けて、令和元年度に実施した適地調査及び開発手法に関する情報収集と、令和2年度に実施したコロナ禍における工場用地の需要等の追加調査を踏まえ、令和3年度は新産業用地開発基本計画及び鶴岡地区農村地域産業導入実施計画を策定します。



全世代全対象型地域包括ケア推進

地域医療推進事業

75万円

「鶴岡市地域医療を考える市民委員会」を開催し、「市民とともに作り上げる地域医療」「在宅医療と介護の連携強化」について、市民の視点であるべき姿を検討します。また、地域医療を守るために市民ができることを掲げる市民アクションプランの策定や、地域医療に関する市民公開講座を開催し、地域医療の理解と普及に取り組みます。



城下町つるおかリブランディング

松ヶ岡開墾場蚕室活用整備事業

1億330万円

市民や観光客が本市近代化の礎となったシルク産業や文化に触れる機会を創出し、その保存継承を図っていくため、蚕室群の一部（4番蚕室）を絹織物体験施設等として整備します。



輝く女性活躍推進

男女共同参画・誰もが働きやすい職場づくりの推進

1,100万円

男女がともに家庭や地域、職場でその能力を一層発揮できるよう、男女共同参画計画の普及促進や、イクボス宣言アクション、つるおか小町Caféの開催など、輝く女性活躍推進プロジェクトを推進します。



城下町つるおかリブランディング

酒井家庄内入部400年記念事業

1,929万円

令和4年に酒井家庄内入部400年を迎えることから、実行委員会が行う各種記念事業等の実施を支援します。今年度は、プレ事業として記念講演会の開催、大手旅行エージェントと連携した旅行商品の造成、歴史文化資料の調査研究等に取り組みとともに、観光客等の受入機能の充実や、鶴岡公園周辺施設間の連携強化など、城下のまちづくりを推進します。



食文化・食産業創造

農商工観連携推進事業

286万円

農商工観連携や6次産業化に取り組みやすい環境づくりに向けて、在来作物や鶴岡産そばの流通体制の強化、民間企業と連携した農産物等の魅力発信事業の実施、6次産業化実践者のサポートなど鶴岡食文化創造都市推進協議会が行う取り組みを支援します。



城下町つるおかリブランディング

鶴岡まちづくりブランディング事業

1,789万円

都市機能の集積やまちなか居住の誘導を図り、中心市街地のにぎわい創出と魅力あるまちづくりを推進するため、民間事業者による居住拠点整備への支援や、公民連携によるまちづくり人材育成等を行います。また、駅前地区全体の将来構想や歴史文化資源の継承について検討します。



食文化・食産業創造

食文化創造都市推進事業

1,058万円

ユネスコ食文化創造都市として、地域の食材と食文化に対する理解を促進し、次世代に持続可能な食を創造していくため、食文化アカデミーの開催を通じた料理人育成や、生産者と料理人をつなぐフィールドスタディ事業を実施します。SDGsをテーマとしたカリキュラムの充実や、若手料理人の連携強化に取り組みます。

また、料理人コンペティションやフォトコンテストの開催、国産生ハムサミットの開催支援食文化研修プログラムの商品化のほか、地域の食を活用した料理教室の開催支援や、小学校における食育体験事業等を行います。



地域国際化SDGs推進

SDGs未来都市推進事業

443万円

本市のデジタル化戦略の具体化を推進するとともに、市民に対するSDGsの一層の普及啓発を図ります。また、企業や団体等のSDGsの取り組みを後押しするため、SDGs登録認証制度を構築し、登録認証事業者に対して金融支援や各種情報提供等を行います。



地域国際化SDGs推進

多文化共生推進事業

5,742万円

市民が主体の国際交流事業を支援するとともに、国際交流拠点である出羽庄内国際村の機能を活用し、在住外国人のサポート体制や受け入れ体制の充実を図ります。



地域コミュニティづくりの推進

3 億 2,648 万円



- 加茂コミュニティセンターの改築工事と大山コミュニティセンターの改築の実施設計、地質調査等
- 第一学区コミュニティ防災センターの改修工事等
- 新婚世帯に対し新生活の開始に掛かる家賃や引っ越し費用等を国と協調し支援



過疎地域の活性化

595 万円

- 地域運営組織の基盤強化に向け、地域づくりを担う人材育成のための研修を実施
- 福栄地区に地域おこし協力隊を配置し、寄り添い型の支援を実施

移住・定住の促進

644 万円



- 移住コーディネーターによるUターン希望者への情報発信や相談対応
- 移住サポートプログラムや移住者交流会等を実施
- 新たな移住プロモーション動画を制作

防災力の強化

112 万円



- 県が指定・公表した「津波災害警戒区域」について、基準水位を表示したハザードマップを作成
- 大規模災害発生時の情報収集や関係機関・団体等との連絡体制を適切に機能させるために、災害図上訓練を実施

生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会の形成

福祉と医療

子供を預かる環境の充実

52 億 2,144 万円



- 多様な保育ニーズに対応するため、一時預かり、延長保育、発達支援保育などの特別保育事業を行う保育所等を支援
- 小学校の長期休業中に、地域団体がコミュニティセンター等を活用して地域児童を預かる事業への支援
- 第五学区学童保育施設を朝陽五小の改築に合わせ整備

障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現

701 万円



- 障害者の自立支援や権利擁護への理解促進のため、障害者福祉について地域で協議する場を設置
- 医療的ケア児や発達障害児等への包括的な支援体制構築に向け、あおば学園の体制を強化し、地域の保健・医療・教育・福祉など関係機関との連携等を強化

高齢者が健康で生き活きたりとした地域の実現

6,239 万円



- 地域ごとの生活課題の解決を図るため、各地域包括支援センターに生活支援コーディネーターを配置
- 介護支援専門員のケアマネジメントの研修を拡充
- 住宅改修の研修や専門職による相談・点検を実施し、適切なケアプラン作成体制を強化

いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流の拡大

学びと交流

次代を担う人づくりの推進

1 億 1,111 万円



- 多様な学習形態による児童生徒の情報活用能力を育成するため、令和2年度に整備された1人1台の学習用情報端末と高速大容量通信ネットワークの維持を継続
- 学校運営の改善や児童生徒の健全育成を図るため、学校と地域が連携、協働して学校運営に取り組む体制として、学校運営協議会制度を導入する学校（コミュニティスクール）の設置を支援

市民スポーツの振興

8 億 7,408 万円



- 今年11月下旬の開館に向け、屋内多目的運動場を整備
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に合わせ、ドイツ、モルドバのホストタウンとしての活動を推進する鶴岡ホストタウン推進委員会を支援

都市交流の推進

1,000 万円



- 姉妹都市等との交流を促進するため、各団体の交流事業を支援
- 令和3年度は東京都江戸川区が盟約40周年、北海道名寄市が盟約25周年、鹿児島県曾於市が盟約20周年であることから、それぞれ盟約記念事業を実施

農業人材育成確保事業

1億5,962万円



- 就農準備段階における研修や、就農初期段階での経営の安定化に向けた初期投資の軽減などに対する支援を実施
- 親元への就農を含めた新規就農者の育成・確保のため、農業次世代人材投資事業交付金の交付やつるおか新規就農者育成プロジェクト支援事業等を実施

園芸産地つるおかプロジェクト事業

7,906万円



- 重点園芸作物の大規模園芸団地化による野菜産地の形成に向けて、関係団体と協調した市の助成や県の園芸大規模集積団地整備支援事業への上乗せ助成で施設整備等を支援



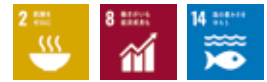
森林経営管理事業

6,452万円

- 森林の適正な管理のため、林業事業者が行う間伐、保育事業への支援や林道災害予防、改良事業等を実施

魚の美味しいまち鶴岡プロジェクト推進事業

302万円



- 飲食店・旅館等での地魚の消費拡大促進のキャンペーンの開催
- 一般家庭での魚食文化の普及のための学校等でのお魚出前教室等を開催
- 学校給食への地場産魚類の納入を補助

商工と観光

力強い産業の振興と国内外との交流の活発化

地域内企業の高度化、企業活性化支援事業

897万円



- シルク産業及び産地の自立化を図るため、キビンを活用した新製品の開発やブランド化を促進し、デザイン・品質・販売手法等における競争力を高める取り組みを支援。令和3年度は松ヶ岡開墾150年記念事業関連についての支援を強化

リモートワーク・ワーケーション推進支援事業

348万円



- 新しい生活様式に対応した安全安心なワーケーションを推進するため、関係団体の活動を支援するとともに、誘致に向け情報を発信

失業者正規雇用奨励金事業

2,860万円



- 新型コロナウイルス感染症の影響により、離職を余儀なくされた方の早期再就職を支援するため、失業者を正規雇用労働者として新たに雇用した市内企業の事業主を支援

鶴岡DMO支援事業

6,930万円



- DEGAM鶴岡ツーリズムビューローの運営費及びDMO機能を強化する取り組みを支援
- DEGAM鶴岡ツーリズムビューローが行う観光戦略、マーケティング、情報発信、旅行商品開発等の取り組みを支援

社会の基盤

市域内外の交流を促進し安全で快適に暮らせるまちの整備促進

市民の生活交通の確保

1億8,902万円



- 路線バス、藤島・温海地域のデマンド交通、西郷地区のボランティア輸送への支援
- 羽黒・朝日地域の市営バスの運行、路線バス運行事業者の車両更新経費への支援

公園等の整備

1億4,723万円



- 鶴岡公園利用者の利便性のため、公園正面広場の整備、古くなった桜の木の保護や更新
- 市の中心河川である赤川の自然を活用した触れ合い・交流・健康づくりの空間となるよう、赤川河川緑地の公園施設の整備

道路や周辺施設の整備

6億1,591万円



- 日沿道新潟県境区間に整備予定の休憩施設の用地測量等
- 道路及び公共施設の除雪
- 山王町本町線（川端通り）の一方通行解除に向けた電線地中化工事等

空き家の適正な管理と有効活用

2,181万円



- 空き家バンクによる空き家の利活用促進を支援
- 若者世帯や市外からの移住を促進するため、一定要件を満たす居住者に寄附を受けた空き家を、住宅用地として供給



〈藤島地域〉

- 長沼・八栄島地区地域公共交通導入事業



- 藤島農産物元気事業
- 庄内農業高校地域連携事業
- 藤島歴史公園「Hisu花」魅力発信事業

2,250 万円

〈鶴岡地域〉

- 鶴岡地域まちづくり未来事業

鶴岡地域の広域コミュニティ組織が実施する活力あふれるまちづくりに向けた取り組みを支援

3,016 万円



鶴岡の豊かな資源・特性を生かし、各地域が連携して、多様性と活力のあるまちづくりを推進します。人々の交流から新たな価値を生み出し、地域の魅力の更なる向上を図ります。

〈櫛引地域〉

- 「でわ宝」で地域おこしプロジェクト



- くしびきフルーツ振興プロジェクト事業
- 櫛引地域デマンド交通導入事業
- 横綱柏戸記念館活性化事業

1,513 万円

〈羽黒地域〉

- 松ヶ岡開墾150年記念事業



- 出羽三山丑年御縁年誘客対策事業
- 松ヶ岡開墾場周辺環境整備事業
- 「ブルーベリーの里」づくりプロジェクト事業

4,415 万円

〈温海地域〉

- 自然資源を生かした保育環境整備による定住促進



- 温海地域在来作物振興事業
- 温海地域支援ネットワーク推進事業
- あつみ温泉開湯1200年記念イベント

2,130 万円

〈朝日地域〉

- 大鳥自然の家環境整備事業

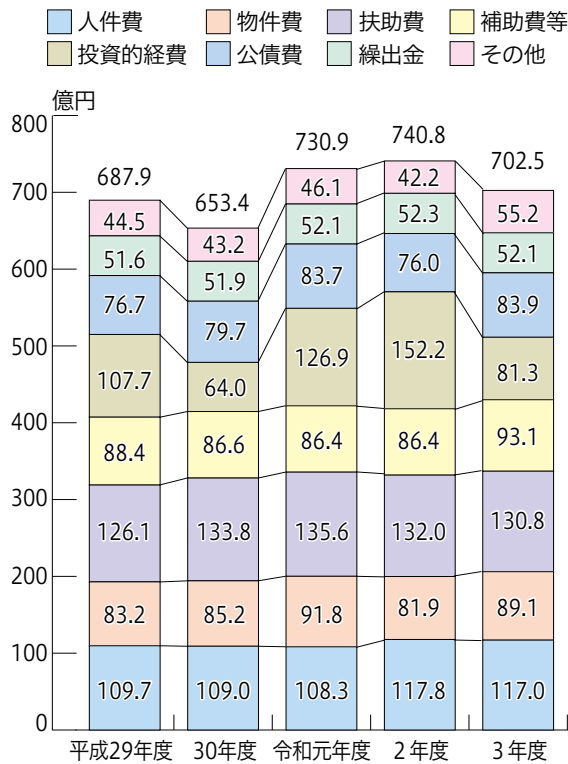


- 若者による地域づくり参加事業支援
- 地域特産品の生産加工支援
- 国有林利活用による観光振興の推進

2,553 万円

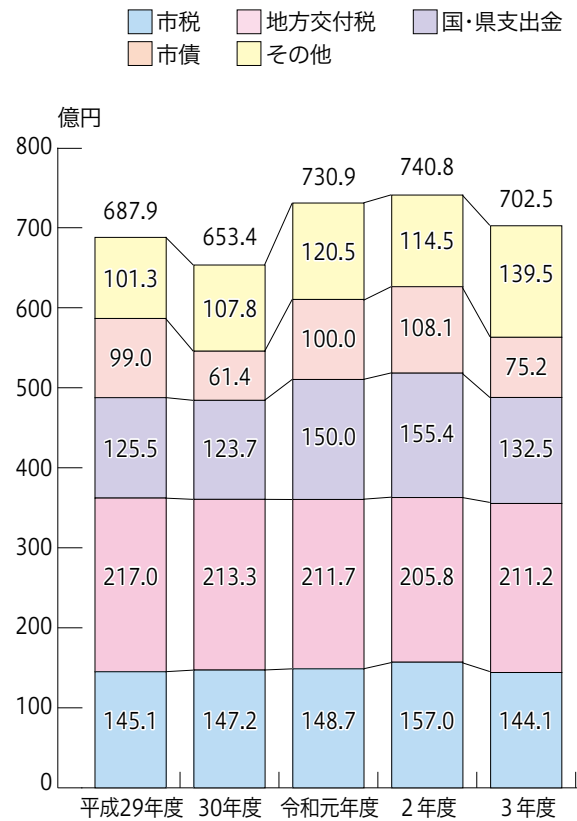
鶴岡市の財政状況をグラフで紹介します

一般会計歳出の構成別推移

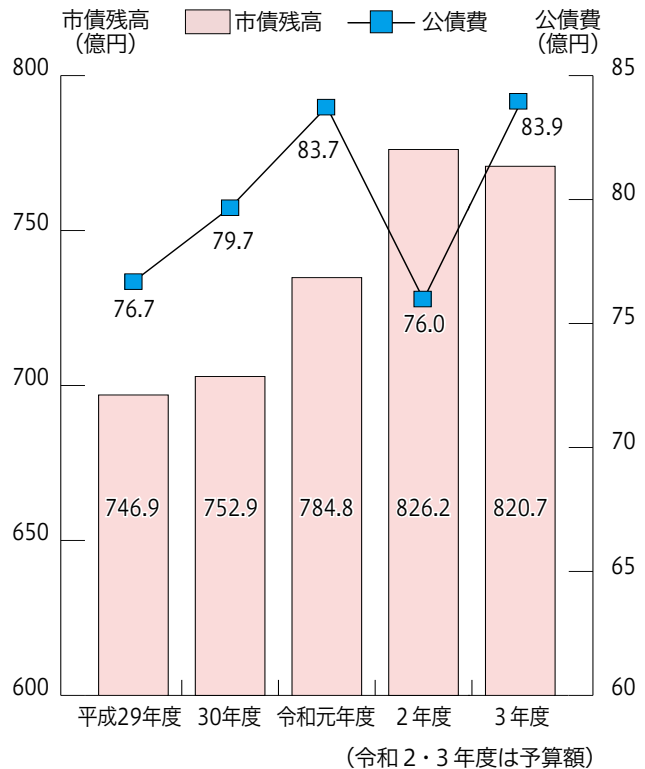


- 人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- 物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設の管理委託料など
- 扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- 補助費等…各種団体や病院・上下水道事業に対する負担金や補助金など
- 投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- 公債費…借金の返済に充てるお金
- 繰出金…介護保険などの給付費に対して、一般会計で負担するお金

一般会計歳入の構成別推移

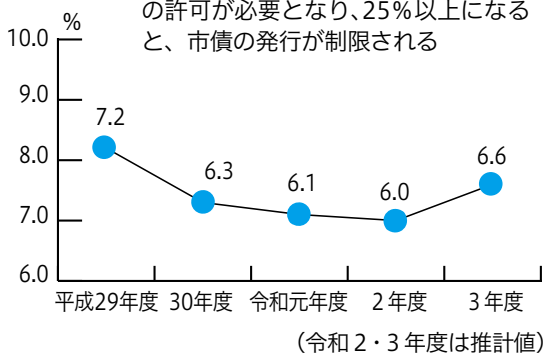


市債残高と公債費の推移



実質公債費比率の状況

○実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が18%以上になると市債の発行には県の許可が必要となり、25%以上になると、市債の発行が制限される



令和3年度の主な重点事業

★…新規・レベルアップ事業

◆暮らしと防災

地域コミュニティ推進事業	3億3,859万3千円
コミュニティセンター整備事業	2億1,730万2千円
コミュニティセンター改修事業	9,703万9千円
婚活支援事業(★)	1,213万6千円
災害に強いまちづくり事業(★)	318万6千円
地域防災対策事業(★)	1,910万9千円
交通安全推進事業<免許証自主返納サポート>	310万円
藤島分署改築事業	1億4,115万1千円
移住・定住促進事業(★)	1,411万5千円
過疎対策推進事業(★)	1,095万9千円
地域住宅活性化事業<耐震>	300万円
庄内自然博物館構想推進事業	2,125万2千円
ごみ焼却施設整備事業	3,297万4千円
一般廃棄物最終処分場整備事業	27億7,180万1千円

◆福祉と医療

妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業	8,099万2千円
特定不妊治療費助成事業(★)	1,400万2千円
子育て支援医療給付事業	4億1,400万1千円
第3子以降の給食費無償化	4,282万円
子どものための教育・保育給付事業	47億697万2千円
子ども見守りサポート事業(★)	280万円
第五学区放課後児童クラブ整備事業(★)	1,443万8千円
長沼温泉ぱっぱの湯管理運営事業(★)	7,424万1千円
くしびき温泉ゆーTown管理運営事業(★)	5,411万1千円
地域包括ケア推進事業	133万3千円
障害者施策推進事業(★)	167万5千円
地域生活支援事業(★)	8,688万6千円
介護給付適正化事業(★)	1,503万2千円
地域医療推進事業(★)	805万3千円
荘内看護専門学校改築整備	2,489万5千円

◆学びと交流

小・中学校GIGAスクール構想推進事業(★)	4,738万7千円
チーム学校の推進支援事業(★)	1億2,707万1千円
地域とともにある学校づくり推進事業(★)	43万5千円
小・中学校通学対策事業(★)	5億7,224万4千円
朝暁第五小学校改築事業	1億6,181万8千円
斎小学校体育館改築事業(★)	1億3,184万5千円
小・中学校特別教室冷房設備整備事業【2年度3月補正予算】(★)	1億4,701万2千円
奨学金返済支援事業(★)	1,555万円
荘銀タクト鶴岡管理運営事業	2億555万円
酒井家庄内内部400年記念事業(★)	1,928万5千円
松ヶ岡開墾場蚕室活用整備事業【2年度3月補正予算】(★)	1億329万6千円
屋内多目的運動施設整備事業	8億4,008万6千円

国内都市提携事業(★)	999万5千円
多文化共生推進事業	5,741万9千円

◆農・林・水産業

農業人材育成確保事業(★)	1億5,961万5千円
地域定住農業者育成プロジェクト事業	351万1千円
農業6次産業化推進事業	2,486万5千円
循環型農業拡大推進事業	2,448万7千円
鳥獣被害対策事業	1,709万3千円
鶴岡農産物消費拡大事業(★)	150万円
森林経営管理事業(★)	6,451万5千円
地域住宅活性化事業<鶴岡産材活用>	8,770万円
魚の美味しいまち鶴岡プロジェクト推進事業(★)	301万8千円

◆商工と観光

S D G s 未来都市推進事業(★)	442万8千円
産業強化イノベーションプロジェクト推進事業	1,411万9千円
地域内企業の高度化、企業活性化支援事業(★)	4,273万3千円
商店街振興対策事業(★)	2,051万5千円
まちなか若者創業・にぎわい応援事業(★)	700万円
新規創業促進補助金(★)	2,000万円
失業者正規雇用奨励金事業(★)	2,860万円
鶴岡DMO支援事業	6,929万8千円
リモートワーク・ワーケーション推進支援事業(★)	348万円
加茂水族館改築事業	1億2,398万3千円

◆社会の基盤

鶴岡市歴史的風致維持向上計画事業	5,338万3千円
鶴岡まちづくりブランディング事業	1,789万2千円
国土利用計画策定事業(★)	63万9千円
鶴岡公園整備事業	8,522万5千円
赤川かわまちづくり事業(★)	6,200万円
日沿道新潟県境区間IC周辺休憩施設整備事業(★)	4,289万3千円
除雪対策事業	5億6,281万8千円
都市計画道路山王町本町線整備事業	1,020万円
交通輸送対策事業	2億1,301万8千円
空き家有効活用支援事業	2,300万9千円
朝日庁舎改築事業	1,656万8千円
水道施設改良事業	8億5,820万9千円
家庭用ディスプレイ導入検討事業(★)	686万4千円

◆地域の振興

地域まちづくり未来事業(★)	1億5,877万7千円
----------------	-------------

◆鶴岡のまちづくりを支え、進める取組み

輝く女性活躍推進プロジェクト事業(★)	77万9千円
ふるさと寄附金事業(★)	7億7,010万3千円
地域活性化起業人材活用事業(★)	3,000万円

鶴岡市の財政・予算及びこの特集について、詳しくは本所財政課へ
☎25 - 2111内線332 ✉zaisei@city.tsuruoka.lg.jp